

いますし、今現在、頼んでおりますジェームス三木さんですか、のほうで朝鮮通信使に絡んだ脚本等も今書いていただいているというふうにも聞いております。さらには、夏ぐらいに向けて別の脚本も書き上げていただくというふうな、対馬を題材にしたことで脚本を書いていただくというお話も進んでいるというふうな報告も聞いておるところであります。

最初の答弁ではございませんけれども、いろんなメディア等のつながりを持ちながら、対馬の歴史とか文化とかいうものもきちんと発信していけるように、つながりをきちんとつくっていききたいと思えます。

以上です。

○議長（作元 義文君） 1番、脇本啓喜君。

○議員（1番 脇本 啓喜君） ありがとうございます。私の愛読書の一つに、孫子の兵法というのがあるんですけど、その中に一つ、特に自分がまだ若いものですから、と思っていますから、そういう人たちを生かしていただきたいということで一つだけ。「将能にして君御せざる者は勝つ」という言葉があります。若い人——将ですね——に自由に発想してもらって、活躍してもらって、肝心なところだけ上の人が指示をする、そういうことを言っているんだと思います。

先ほど申しましたように、坂本龍馬みたいに短命では困りますけども、対馬各地に坂本龍馬を育て上げていく、そういうことを理事者側で一生懸命押していただきたいということをお願いして、本日の質問は終わらせていただきます。

○議長（作元 義文君） これで、脇本啓喜君の質問は終わりました。

.....

○議長（作元 義文君） 暫時休憩します。再開を3時10分から。

午後3時02分休憩

.....

午後3時10分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

次に、6番、松本曆幸君。

○議員（6番 松本 曆幸君） よろしく願いをいたします。新生クラブの松本曆幸です。初めて一般質問をいたします。どうぞよろしく願いをいたします。

財部市長におかれましては、平成20年3月に就任以来、大変厳しい財政事情の中に、健全財政に向けて努力なされておられることに感謝を申し上げる次第であります。市政を預かりちよほど折り返し点となります。今後も厳しい行政運営が続くかと思われませんが、市長のスローガンでもあります「対馬よみがえり宣言」「対馬改進黨」に向けて、さらに頑張ってくださいますようよろしく願いをいたします。

先日、市長のブログを拝見いたしましたけれども、ちょっとお疲れのようでしたから、健康管理には十分留意をなされて御政務いただきますようによろしく願いをいたしておきます。

本日は、4点について質問をいたしたいと存じます。よろしく願いをいたします。

まず1点目に、対馬市ミュージアム建設構想について、対馬の文化的拠点となる歴史ミュージアム建設構想についてお伺いをいたします。

現在、対馬市の歴史資料館は、厳原町郷土館・豊玉町郷土館・峰町歴史民俗資料館・上対馬町歴史民俗資料館と4館がありますが、このうち厳原町郷土館は解体に伴い閉館されるとのことでありますが、残る3館については、いずれもかなり貴重な資料が展示をされておりますが、どの館においても、ただ展示がされているというだけで、資料の収集・調査研究・レクリエーション等に資するための事業はほとんどなされていないのではないのでしょうか。

このため、学術的には非常に貴重なものであることは論を待たないところではありますが、展示物も少なく、いつ行ってもいつも同じものが並んでいるといった状態であります。セールスポイントとして、来館される方にいませいインパクトが弱く感じられます。広い意味での観る、魅せる、学ぶという観光振興の面からも、いまいちの感がいたします。

平成21年度対馬市教育要覧では、対馬市教育努力目標でも文化遺産の保護と豊かさをはぐくむ文化の創造がうたわれております。また、教育委員会各課の重点施策として、長期的課題の中で「交流の歴史・伝統的民俗・育まれた自然を網羅した博物館を関係機関との連携を図りつつ、その実現を目指す」とあり、具体的推進施策として「文化財資・史料の整備充実と展示施設活用の促進」では、「対馬国際ミュージアム（博物館）の設置促進を図る」とあります。

厳原町郷土館も閉館となります。昭和45年の開館以来、天然記念物の剥製や歴史資料、出土品など、多数展示された小さな博物館がなくなります。非常に寂しい限りです。

そこで、観光振興を始めとする地域振興の起爆剤とするため、また対馬市民が誇りとする文化的なよりどころとして、対馬市の歴史的、自然史的特性を生かした総合的な歴史ミュージアムの建設構想についてお伺いをいたしたいと思っております。

次に、2点目でありますけれども、防犯灯の設置状況と基準についてお尋ねをいたします。

防犯とは犯罪を防ぐことでありますが、犯罪を未然に防止しなければならない場所において、地域からの防犯灯の設置要望にどのようにこたえられているのかお伺いをいたします。

さきの12月定例会において、少しお尋ねをしたところではありますが、設定基準と申しますか、どのようなところであれば設置できるのか、まだよく理解できないところがありますので、もう一度お尋ねをいたします。

3点目につきましては、渡海船ニューとよたまの良さ、もっとPRをと係船施設の改良についてお伺いをいたします。

ニューとよたまについては、現在も定期航路の運行とあわせて、不定期航路が浅茅湾めぐりとして周遊観光航路に活用されております。このニューとよたまによる対馬浅茅湾周辺のPRと係船施設の改良についてお尋ねをいたします。

これは長崎新聞の「みんなの広場」欄へ投稿されておりました豊玉高校の藤田毅先生の対馬の観光に対する熱い思いを伝えるべく投稿された記事をそのまま紹介をして質問とさせていただきます。藤田先生におかれましては、対馬の観光を始めとする地域振興に日々御心労をいただき、本当にありがとうございます。

それではまず、平成21年9月13日に掲載されました投稿分から御紹介をいたします。

「渡海船の良さ、もっとPR」と題して、

対馬では市営渡海船が豊玉から美津島間に就航しています。住民の方々の重要な生活航路であるとともに、風光明媚な浅茅湾の観光も楽しめる船です。ことし私の職場では、職員の親睦を兼ねてこの船に乗る会を実施いたしました。海からの和多都美神社など、日ごろと違う視点から対馬を見ることができ、参加した職員や家族は感動していました。さらに、船員や地元の利用客の方々の話から、島の歴史などを知ることができました。また後日、仕事の帰りにこの船を利用したのですが、乗り合わせた観光客は次々と目の前に広がる島のすばらしさを感じ、下船の際には船員の方に何度もお礼の言葉をかけられていました。

ある動物の顔に見える山や海岸の可憐な花など、渡海船でなければ経験できない良さが航路の至るところにあります。

秋は浅茅湾の紅葉も楽しめるそうです。観光協会はガイドブックなどでこの船をもっとPRし、路線バスの連絡改善など、観光ルートとしての整備をすれば、より多くの人に渡海船のよさを知ってもらえるでしょう。また、対馬勤務の県職員は地域を知るため、積極的にこの船を利用してはと思います。

とあります。

また、21年11月11日投稿の内容はこうであります。

「対馬の浮き桟橋整備支援して」と題して、

以前も書きましたが、対馬では市営渡海船が住民の方々の重要な生活航路で、豊玉の貝鮎・嵯峨・佐志賀地区はこの船が唯一の公共交通機関です。水崎地区と美津島鶏知の間は陸路で約1時間かかるところを渡海船は30分で結びます。実際にこの船に乗ると、年配の方が通院や買い物で利用される様子を見ることが多いのですが、心配な点があります。それは、途中の貝鮎港に浮き桟橋がないことです。そのため、渡海船は貝鮎港で防波堤に直接設置された岸壁に接岸します。この岸壁は潮位変化に幅が狭いコンクリートの階段でしか対応しておらず、巧みな操船技術と手を添えての補助という2人の船員の方による連携で乗降の安全が担保されてい

ます。また、浮き栈橋がある港でも、栈橋と陸を結ぶ橋や、船からロープをかける支柱がひどくさびているところもあります。本土では、バリアフリーのために低床バスの導入などが行われていますが、渡海船の栈橋整備も目的は同じではないでしょうか。港や栈橋の管理者の問題がありますが、財政が厳しい対馬に対し、島民の安全のため、国や県・各財団などからの温かい支援を検討してもらい、各港の浮き栈橋が整備できないかと思っています。

とあります。

以上が投稿の内容です。

また、豊玉高校の生徒の方も同じ「みんなの広場」欄の学びや写真館に投稿され、ニューとよたまの写真と浅茅湾の写真がよく載せられております。2月4日の長崎新聞では、豊玉高校の写真部が渡海船から撮影した風景写真などを使って作成された「観光パンフレット」が寄贈をされております。本当によい対馬のPRになっていると思います。このような対馬のよさを愛する市民の方の思いに対して、ニューとよたまの良さと浅茅湾周遊のPR、定期航路における港の係船施設の改良についてどのような思いを持たれておられるのかお伺いをいたします。

4点目に、豆酩崎公園の通年管理についてお伺いいたします。

御存じのとおり豆酩地区は日本の里100選にも選ばれた風光明媚な地区です。この豆酩地区の最も南に位置します豆酩崎は、対馬の中でも屈指の景勝地であります。年間を通してかなりの観光客が訪れられておると思います。当公園は自然公園法の国定公園第2種特別地域に指定され、「良好な自然状態を保持している地域で、農林漁業との調和を図りながら、自然景観の保護に努めることが必要な地域」とあり、園地、野営場として利用がなされております。

しかしながら、必ずしも公園全体においてしっかりとした管理、整備がなされておられるかと言いますと、ちょっと首をかしげたくなるところでございます。市道美女塚線・市道尾崎山線の管理とあわせて、1年を通してどのような管理形態であられるのかお伺いをいたします。

以上、4点についてお伺いをいたします。どうぞよろしくお願いをいたします。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 松本議員の質問に答えさせていただきます。

よみがえり宣言ということで、うたって、私それに向かって一生懸命再生のためにと考えて取り組んでいるところですが、ただし私だけ動いても無理がありまして、ここには必須条件がありまして、施政方針でも申し上げましたとおり、島民の方々も同じ思いになっていただいで、一緒になって動かないとよみがえりはなかなか難しいと思っております。そういうふうに議会とも一緒になって動きたいというふうに思っております。

まず1点目の歴史ミュージアム建設構想についてであります。この3月14日に壱岐市のほうで一支国博物館がオープンいたします。私もこのオープン行事に参加が言ってきておりますの

で行こうかとは思っておりますが、正直言って悔しい思いをしております。

実は、平成8年に国際歴史ミュージアム構想の前身であります計画というのは、一昨日も話しましたが、平成8年に一度でき上がっております。その後平成12年に「日韓コアシティ21」計画ということで、さらにそれを詳細な計画をつくり上げてきたところであります。

また、同様の計画ということで国際交流ミュージアムということで、平成17年度に――年月で言いますと18年3月でございますが、教育長が市長に提言書で答申を行っております。

そういう中で、対馬市の財政状況がまだまだうまく進んでいないという中で、この計画というのは遅々として進んでおりません。私は、この3月14日にオープンします一支国博物館以上に、対馬市はさまざまな歴史資料もそうですが、自然も文化もふくそうしたものを持ち合わせていながら、このようなものがまだできていないことに悔しい思いを持っております。恐らく3月14日、壱岐に渡りますが、また帰ってきて悔しい思いをしながら帰ってくるのではないかと、自分自身は何となく予想ができます。

今後の問題でございますが、この建てることよりも、やはりさまざまな資料、江戸時代の寛永年間からあります毎日記の問題にしてもそうです。

それから、今九州国博の最上階の一番いいところに対馬のものが飾られておりまして、九州国博に訪れる方々の動線の最後は、必ず対馬のものを見て帰ってあるというふうな状況です。

九州国博に二度ほど行きましたが、企画展と常設展があります。その企画展の進め方というのが大変上手であります。で、恐らくどこかが指定管理を受けてやってあるんだろうと思いますが、九州の持ち合わせているさまざまな資料等を魅せ込んでいく企画展のその企画力というものが、大変、館の運営上は試されるというふうに思っています。

通常、私ども学芸員はわかっておりますが、実は博物館には「キュレーター」という、日本語ではちょっと言葉がないんですけども、キュレーターという職名があります。で、そういうキュレーターの存在が博物館等の運営には重要な役割を担っているところです。

で、あとの展示のことを考えた上での建設のあり方とかいうものをしていかないと、建設ありきで行った場合、後での展示関係、企画展関係がうまく進まないとお客は呼び込むことはできませんし、観光客も呼び込めないというふうな考え方を持っています。今後そのあたりの運営計画といいますか、展示計画とか、いろんなものがあろうかと思えます。そのあたりをしっかりと詰めていながら、建設ができるような環境整備をしていきたいと自分自身思っておりますし、今島内にあります、今回解体した場合に残る3つの施設になりますが、その施設を含めての企画展というふうなやり方をやっていかないといけないのかなと思っております。

いつも同じような形で展示をしていますが、人は寄りつきませんので、そのあたり先ほどから何度も言いますように、企画力がある人間をそこに、キュレーターとして雇い込んででもやってい

かないと、うまく進まないものと思っております。何はともあれ、この14日の一支国博物館の今後の運営状況等もしっかり情報収集しながらいきたいというふうに考えております。

次に、防犯灯の基準の問題でございました。設置基準につきましては、類似団体の設置基準をもとに対馬市の設置基準を実は定めております。

まず第1に、小学校の通学路の全般及び中学校の通学路のうち、主要な箇所であること。第2に、道路照明等の光源からおおむね100メートルにわたり照明のない場所であること。第3に、その明かりの光源の場所ですが、当然なんです、間隔は100メートルごとに1灯とすると。ただし、例外措置として、道路が曲がりくねっておりまして光源が届かないところ等がある場合は、その状況に応じて設置をするというふうな基準を設けております。現在、設置要望については、毎年20数件の設置要望があっておりまして、現地調査を行った上で先ほど申しました設置基準に照らして新設を行っておるような状況であります。

次に、渡海船に関する問題、そして係船施設の関係でございまして。松本議員がおっしゃられた藤田先生が新聞のほうに正直すばらしい視点でいつも提言をいただいているなというふうに思っております。また、豊玉高校の写真クラブの子供たちが、渡海船から見る浅茅湾の風景とかいうものを投稿し、それが新聞に掲載されておりますけれども、またあの写真については、先ほどおっしゃられたように、私どものほうに豊玉活性化センターのほうに届けられておりまして、先日地域支援課の担当がCATVのほうに出演しておりましたけれども、その際も豊玉高校の学生さんからもらった写真を使いながら、自分の仕事の説明もしているところでありまして、大変地域の方々、そして子供たちも一緒になって私どもの対馬市全体のことを一生懸命考えてくれていると思っております。

そういう中で、このとよたま丸の良さをということですが、実は昨年からCATVのほうに職員が出てもらっております。私のほうから直接実は指示をしまして、それに出て、とよたまの渡海船の観光事業での収益を幾らかでも上げんといけないということもあり、PRには努めておるところであります。

また、今ゲンカイツツジが咲き始めているはずですが、この時期に渡海船の船員さんたちが、またCATV等に出て、島民の方々に浅茅湾の良さをわかっていただくためのPRはする予定だということで話も聞いております。

で、貝鮎の問題が出ておりましたけれども、貝鮎の分につきましては、この21年度改めて手すり等、設置をしておりまして、利用客の安全を図っております。まだ嵯峨と佐志賀ですかね、こちらが浮き桟橋が木製というふうな状況もあります。その傷みぐあい等をしっかりと見ながら改修等には安全な状況を確認していきたいというふうに思っております。

次に、豆敷崎の公園の問題でございまして。これは、管理についてはシルバー人材センターと公

園等の維持管理委託に業務委託をする形で管理を今現在しております。シルバー人材センターにつきましては3月から10月は週2回に、それ以外の月は週1回の割合で業務についていただいております。トイレの清掃とか施設内のごみの収集等を行っていただいております。

また、維持管理委託員につきましては、旧巖原管内にある公園のうち12カ所の公園の維持管理をしておりまして、豆敷崎を含む公園内の草刈りや軽微な補修等を行っております。また、ボランティアでも除草等を行っていただいているというふうな報告も聞いております。

今述べましたとおり、この豆敷崎の管理につきましては、限られた予算や人員ではありますけれども、22年度以降につきましても、今まで以上の管理ができるように努力していきたいと思っております。また豆敷崎園地に行きます市道美女塚線や尾崎山線につきましては、毎年除草作業等を実施をし、21年度は道路上に覆い重なっております樹木の伐採も行っているところであり、今後もできる限りパトロール等を実施し、車両の通行の安全管理を確保していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（作元 義文君） 6番、松本曆幸君。

○議員（6番 松本 曆幸君） 質問が4点ほどいたしました関係で、時間がないようでありますので、簡単にもう一度ずつ質問をいたしたいと思っております。

先ほどのミュージアム建設構想については、いろいろ市長の考え方などについては十分理解ができますけれども、建設の構想に向けたちょっと考え方といいますか、そのあたりがちょっとまだよく聞こえてこないような感がありますので、もう一度お願いしたいと思っております。

それと、先ほどおっしゃられました18年3月の宗家文庫資料等保存施設計画策定委員会の中から提言がされました中に、対馬市に対して、平成17年3月に対馬国際交流ミュージアム（仮称）設置構想中間提言が作成され、対馬市もこれを受けて委員会の意図は十分理解したと回答されたとあります。その後において、市は何か取り組みがなされたのかどうかを1点お伺いしたいと思っております。

それと、防犯灯の設置状況でありますけれども、実はこれは豆敷の区長会の太田会長さんより借りてきたものなんですけれども、その中に、市に対して道路改良などの要望とともに、防犯灯の設置についてもお願いをしたところではありますが、そのときの防犯灯設置要望についての市からの回答をちょっと読ませていただきたいと思います。

1番目に、NTT柱に設置したいと思っております。2番目に、設置できる柱がなく、予算面からも設置が困難ですので、設置は見合わせたいと思っております。3番目に、要望箇所と距離が近いため設置ができません。4番目に、御要望の箇所は、夜間は人通りが少ないと思われるので、防犯灯の設置は見合わせたいと思っております。5番目に、道路の終点に位置しており、夜間の利用

者は少ないと思われますので、防犯灯の設置は見合わせたいと思います。

何とぞ御理解くださいいただきますようお願いいたします。

とあります。よくここが理解できないんですけれども。これらの回答によれば、1つには設置できる柱がないところ、2つ目には距離が近いところ、3つ目には人通りの少ないところ、4つ目には道路の終点に位置しているところ、5つ目には予算面から設置が困難というようなことになってしまいますけれども、一体どういうところであれば設置ができるのかということになりますが、あまり防犯意識のないような回答のようにあるんですが、市民の皆様には公平な設置がなされていないということにもなりませんでしょうか。対馬市全地域的にも同じ回答がなされているものと私は推測をいたします。

1点目と2点目がちょっと質問が続きになりましたけれども、よろしくようお願いいたします。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 1点目の歴史ミュージアム建設構想に絡んで17年3月ですか、中間のやつ、その後の市の取り組みはどうなっているのかということでございます。その後、全く動いていないというのが正直な話です。

そういう中で、年次的なものは明示はできませんけども、そのあたりの環境整備をしていかななくてはならないと。何年につくると仮に言ったとしても、つくって言うておりますが、史跡整備委員会の考え方を基本に置きますと、今の県の歴史民俗資料館、それからビジターセンター、それから資料館のあの3つあります、あの全体としてのあの地域が金石城、それから清水山城、万松院、これらの3つの国指定史跡のガイダンス施設としての位置づけもあるから、そこにミュージアムをつくったほうがいいということでもありますので、その考え方をもとに、私自身も持ってはおります。

先ほど言いましたように、年次的なことは明示は、私も今はできませんけれども、財源的な問題等々を考えたときに、私も言いきれないと思いますが、そういう状況が生まれたときに、すぐできるようにするためには、上の施設等を県の歴史民俗資料館を今の建物を収蔵庫としての考え方を生かしながら、どう営業していくかみたいなことも考えなくてはならないと思いますし、用地を今のうちに少しずつ更地化していくことも大事だと思っております。

今のビジターセンターにつきましては、アスベストを含んだ施設ということで、施設としての利用ができない状況にあります。逆に、アスベストを含んでいるために解体するに相当の経費がかかる状況も生まれております。そのあたりもじっくり考えながらやっていかななくてはならないという思いもあります。

また、金石城の入り口としてのやぐら門の近くにありますが、巖原幼稚園の問題も当然史跡整備委員会のほうから指摘をされ、さらにやぐら門に入った中のプールの問題も指摘をされております。

さらには、その奥にあります体育館、このことも厳しい意見を20数年来ずっと言われ続けている問題であります。この問題を少しずつクリアにしながら、そのガイダンスセンターとしてのミュージアムというのをつくっていかなくてはいけないということがありますので、そのあたりの環境整備をまずきちんとやっていきたいなというふうに思っております。

次に、防犯灯の問題でございますが、これについては、当然私は、言い忘れておりましたけども、設置基準の中には既存の電柱ですね、そういうものを優先をしたいと。で、新設につきましては約6万円ほどの費用が1基当たりかかる状況があります。

そういう中で、年間で約20基程度ずつつくっていった状況であります。予算との関連も当然ございますので、そのあたりを考えた回答だったのかなと思います。すべてを否定しているというわけではないんですけども、先ほど言いましたように、子供の通学路を中心に物事を考えているというふうに考えていただければと思います。

○議長（作元 義文君） 6番、松本暦幸君。

○議員（6番 松本 暦幸君） 対馬市のミュージアムの整備構想については、先ほど来、市長がおっしゃられておりますように、壱岐にも立派なものができます。で、五島市のほうにおいても城郭風の立派な資料館がございます。これ対馬としてもかなりの文化財がありますので、よく活用していただきますように、また活用できる施設を早急に整備されますようによろしく願いをしておきます。

それと、2点目の防犯灯の件ですけれども、もちろん児童生徒が優先されるのはもちろんでございますけれども、やはりそれとは別に、高齢者の方もおられますし、いろいろ不便を感じられておられると思います。そういうしゃくし定規なことでは、先ほども申しましたけれども、ちょっと防犯意識がない中での回答であるような気がしてならないんですけれども、その点について、もう一度、その防犯灯についてお聞かせ願えればと思います。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 防犯意識は、決してそれを持ち合わせていないというわけではないんですが、犯罪が起こってからでは実際遅いわけですけれども、未然に防ぐための措置としては当然考えておりますけれども、現時点において、年に先ほど言いましたような基数を増やしていただいております。全島で電気料だけでも2,000万円を超えております。そして21年度には2,100万円を超えておられるような状況でありまして、そのあたりの問題も含めて取り組まさせていただきますというふうに理解をしていただければと思います。決して防犯に関してないがしろにしているということではございません。

○議長（作元 義文君） 6番、松本暦幸君。

○議員（6番 松本 暦幸君） やはり地域からはかかる場所については危険であることから要望

がっていると思います。万が一つにも起こってはなりません。まだまだ防犯灯の設置の必要性のある箇所はあると思います。要望箇所ならず、昼夜よく調査をされて、犯罪を未然に防止する意味でも、地域の要望にしっかりとこたえていただきたいと思います。

そして、3番目のニューとよたまの件ですけれども、これは先ほど来、いろいろと御説明をいただきましてありがとうございます。いろいろニューとよたまの件と、それと係船施設、それと観光振興については、いろいろ御腐心を藤田先生がなされておりますので、このあたりについてはしっかりと受けとめていただいて対応していただくようによろしく願いをいたしておきます。

それと豆殿崎公園の通年管理についてでございますけれども、一つだけお伺いをいたします。

私が、この通年管理の問題について通告をした後に、現地のほうを一度見られに行かれたのかどうかお伺いをして後の質問にさせていただきますのでよろしく願いをいたします。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 私自身は、正直言って行っておりません。

○議長（作元 義文君） 総務企画部長、平山秀樹君。

○総務企画部長（平山 秀樹君） 担当部長といたしまして現地のほうには私は調査に行っておりません。ただ、地域振興課のほうを担当でありまして、管財課のほうが管理のほうになりますけれども、地域振興課のほうで現地には行ったとは私は聞いておりますけれども。

以上です。

○議長（作元 義文君） 6番、松本曆幸君。

○議員（6番 松本 曆幸君） ちょっと私心外ですけれども、このような通告をしとる中で、現地を把握されない中での回答ができるのでしょうか。いかがでしょうか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 私自身は、そこまで足を正直言って伸ばしてないというのが事実でありまして、内山とかには行ったんですが、それは別件のイノシシがのり面を崩落させているという話があったものですから足を伸ばしましたが、この一般質問に対しての現地には私自身は足を運んではおりません。申しわけございません。

○議長（作元 義文君） 6番、松本曆幸君。

○議員（6番 松本 曆幸君） 私はちょっと気づいた点が10点ほどあるんですけれども、もう時間がないので、主なところだけちょっと紹介をさせていただきます。

この写真をごらんください。これは園地広場のほうに案内板の中で案内がされております。浜のほうにあります休憩所なんですけれども、全くやぶくらの中に建っておりますような休憩所です。途中の道路についても全くこのような状態です。そしてこれら東側のほうにおりる浜と接続する階段です。ひどいものです。これが豆殿崎園地の一番先にあります展望所の下石積みの基

礎です。このような状態です。見えますでしょうか。

それと、トイレが、ドアが、もうぼろぼろです。見るに忍びないぐらいのぼろぼろです。この点を一度見ていただいてからの質問にしたかったんですけども、どうも現場を見られてないようですから、もうこれで終わりたいと思います。現地を今後よく見ていただいて対応していただくようお願いをいたしておきます。

以上で質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（作元 義文君） これで、松本曆幸君の質問は終わりました。

○議長（作元 義文君） 以上で本日予定の市政一般質問はすべて終わりました。

明日も定刻より登壇者5名による市政一般質問を行います。

本日はこれで散会とします。お疲れさまでした。

午後3時55分散会
